

道づくりだより

第53号

2012.7 島根県道づくり調整会議



島根県の道路の現状・計画等の道路情報を掲載したパンフレット「島根県の道路 2012」が完成しました。ご入り用の方は下記までお問い合わせ下さい。

島根県土木部高速道路推進課 (TEL: 0852-22-6134)

Contents

1. 一般国道 432 号 菅原広瀬バイパス 1 工区が開通しました! (道路建設課)
2. 高速道路利用促進キャンペーン開催 in 中国自動車道勝央 SA (高速道路推進課)
3. 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ (道路維持課)
4. 出雲大社参詣道「神門通り」の石畳工事が完了しました (都市計画課)
5. 広域基幹林道「三隅線」の工事状況について (森林整備課)



一般国道 432 号

すがはらひろせ

菅原広瀬バイパス 1 工区が開通しました！

■ 菅原広瀬バイパスについて ■

平成 15 年から事業を進めてきました、一般国道 432 号「菅原広瀬バイパス 1 工区」2.7km が 7 月 11 日に開通しました。

一般国道 432 号は、広島県竹原市を起点に、松江市相生町の国道 9 号に至る全長約 210km の広域幹線道路で、物資の輸送や沿線の生活道路として重要な役割を果たしていますが、今回の事業箇所は幅員が狭く、急カーブの連続する交通の隘路であったため、早期の道路整備が望まれていました。



菅原広瀬バイパス 1 工区 位置図

工事概要

事業期間：平成 15 年度～24 年度

事業費：約 42 億円

延長：約 2.7km

主要構造物：菅原トンネル L=293m

川平大橋 L=152m

畑田輪大橋 L= 64m

■ 開通祝賀行事 ■

川平大橋で行われた開通式では、溝口知事ら関係者によるテープカットやくす玉開披、地元広瀬幼稚園児による尼子キッズ隊のアトラクションに続いて式典参加者全員による渡り初めが行われました。

この菅原広瀬バイパス 1 工区の開通は、安全で円滑な交通の確保、広域的な物流の促進、そして地域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。



くす玉開披



参加者による集合写真

高速道路利用促進キャンペーン開催 in 中国自動車道勝央 SA

平成 24 年 7 月 7 日 (土) に中国自動車道勝央 SA 下り線 (岡山県勝田郡勝央町勝間田) において、NEXCO 西日本中国支社津山高速道路事務所の「七夕交通安全キャンペーン」と連携し、高速道路利用促進キャンペーンを行いました。

この日は、平成 24 年度に開通する中国横断自動車道尾道松江線の PR チラシの他、島根県観光ガイドマップや神話博しまね公式ガイドブックも併せて配布し、観光 PR も兼ねて行いました。また、松江歴史館からも 7 月 21 日 (土) から 8 月 31 日 (金) にかけて開催されている「まつえ忍者ふえずた」の PR 活動として参加され、サービスエリアを利用された多くの方々に島根に興味を持っていただけたことと思います。



尾道松江線 PR チラシ



「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ

◇毎年8月は、「道路ふれあい」月間です。

道路の役割や重要性をあらためて認識し、道路をいつくしむ気持ちをもっていただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。この月間中には全国で表彰をはじめとした様々な活動が行われます。

◇「道路ふれあい月間」推進標語とは

毎年1～3月頃に、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、国土交通省が広く募集をしています。島根県では、募集期間には県庁道路維持課や各県土整備事務所、市町村役場、道の駅において応募用紙を配布しています。入選作については、ポスターやチラシなど、「道路ふれあい月間」における活動の推進に幅広く使用されます。今年度は、「道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。」をテーマに募集がありました。

◇平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです

○最優秀賞（3作品）

一本の 道に日本の 底力

徳島県 今田紗江さん 44歳（一般の部）

つなげよう 僕の道から きみの道

千葉県 中村安里さん 9歳（小学生の部）

いつの日も 歩きたくなる 道がある

神奈川県 鈴木裕也さん 14歳（中学生の部）

◎最優秀賞3作品のうち「一本の 道に日本の 底力」を今年度の代表標語とします。

○優秀賞（6作品）

【小学生の部】

『ありがとう 未来へ続け この道路』 新潟県 大矢裕介さん 12歳

『この道で 今日も出会いが 生まれてる』 鳥取県 池上流彩さん 12歳

【中学生の部】

『決めたから この道行くよ どこまでも』 富山県 山本桃子さん 14歳

『人と人 つなぐところに 道がある』 宮崎県 川野友裕さん 13歳

【一般の部】

『明日もまた 道の向こうに 待つ笑顔』 神奈川県 内河裕信さん 52歳

『うまいくい そんな風吹く 今日の道』 石川県 前田千文さん 42歳

出雲大社参詣道「神門通り」の石畳工事が完了しました

出雲大社の参詣道である「神門通り」（県道斐川出雲大社線）は、出雲大社の平成の大遷宮を見据えて、県と出雲市と地元が一体となって、まちのにぎわい再生に取り組んでいます。

県では、神門通りの石畳工事を、出雲大社正門前から一畑電車出雲大社前駅までの約 330m で、平成 24 年 5 月から行っていましたが、神話博しまねに訪れる多くの来訪者に神門通りを歩いていただくため、開幕に先立ち、このたび 7 月 10 日に歩道の一部を除き完成しました。出雲大社境内から神門通りまで大判の石畳が連続し、門前にふさわしい風格と活気のある通りとして魅力が高まります。

なお、残りの工事（電線・電柱の撤去、照明設置および歩道の一部の石畳工事等）を神話博しまね終了後に再開し、出雲大社正遷宮までに同区間を完成する予定です。

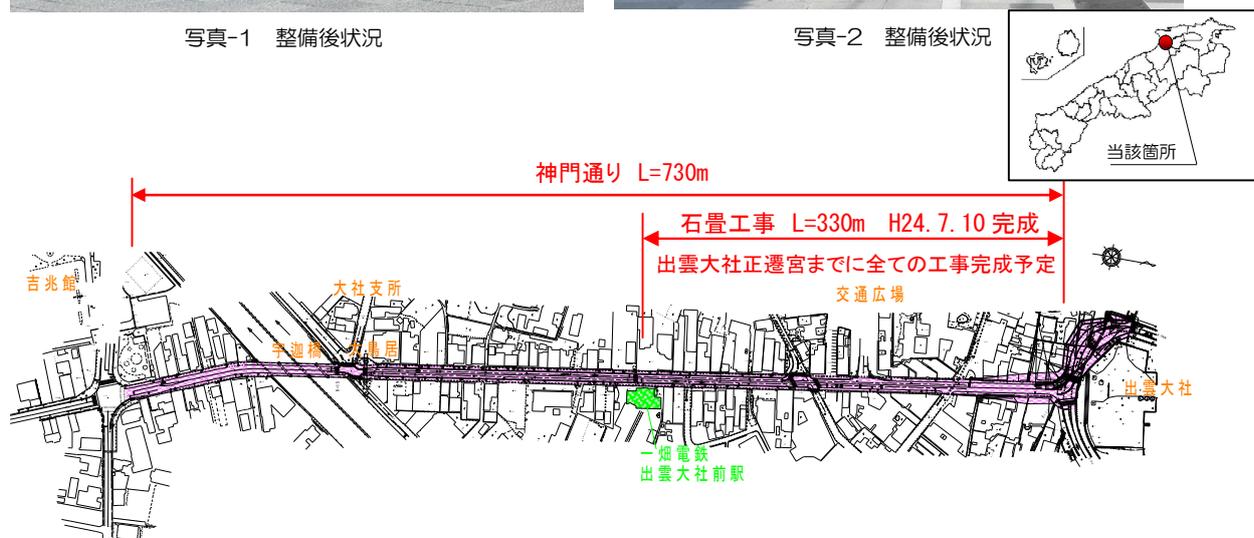
1. 完成日 平成24年7月10日
2. 完成工事 石畳工事 L=330m
3. 事業主体 島根県出雲県土整備事務所



写真-1 整備後状況



写真-2 整備後状況



～ 安心して楽しみながら歩ける道づくりにご協力ください ～

神門通りは、人と車が譲り合いながら行き交う「歩車共存道路」です。神話博しまねや夏の観光シーズン到来に備え、時速30km の速度制限を守り、安全な通行へのご協力をお願いします。

～工事期間中に大社神門通りメモリアル企画「石畳にメッセージを残そう」を行いました～

「神門通り」（県道斐川出雲大社線）では、石畳工事にあわせ、地元住民や観光客に、石材（裏面）へ自由にメッセージを記入してもらい取り組みを行ったところ、約 2,200 人の方に参加していただき、とても好評を博しました。

メッセージが記入された石材は実際に神門通りに敷かれ、参加者が神門通りや大社地域への愛着を深め、リピーターが増えるよう期待しています。



参加者には「いい記念になった」、「自分のメッセージがこの場に残るのでうれしい」、「また大社参りに来たい」など、とても好評でした。

～一畑電車出雲大社前駅周辺にポケットパーク整備等を進めています～

勢溜り周辺を中心に新規出店が進むなか、にぎわいを通りの南へとつなげていくため、市・県・一畑電車が協力し、登録文化財である出雲大社前駅を活かした新たな観光スポットづくりを行っています。

映画「RAILWAYS」で話題になった電車「デハニ50形」の展示スペースや、駅舎を活用したカフェレストランは7月にオープンしました。残る広場工事については9月完成を目指して整備を進めています。



写真-4 神門通りポケットパーク完成予想図



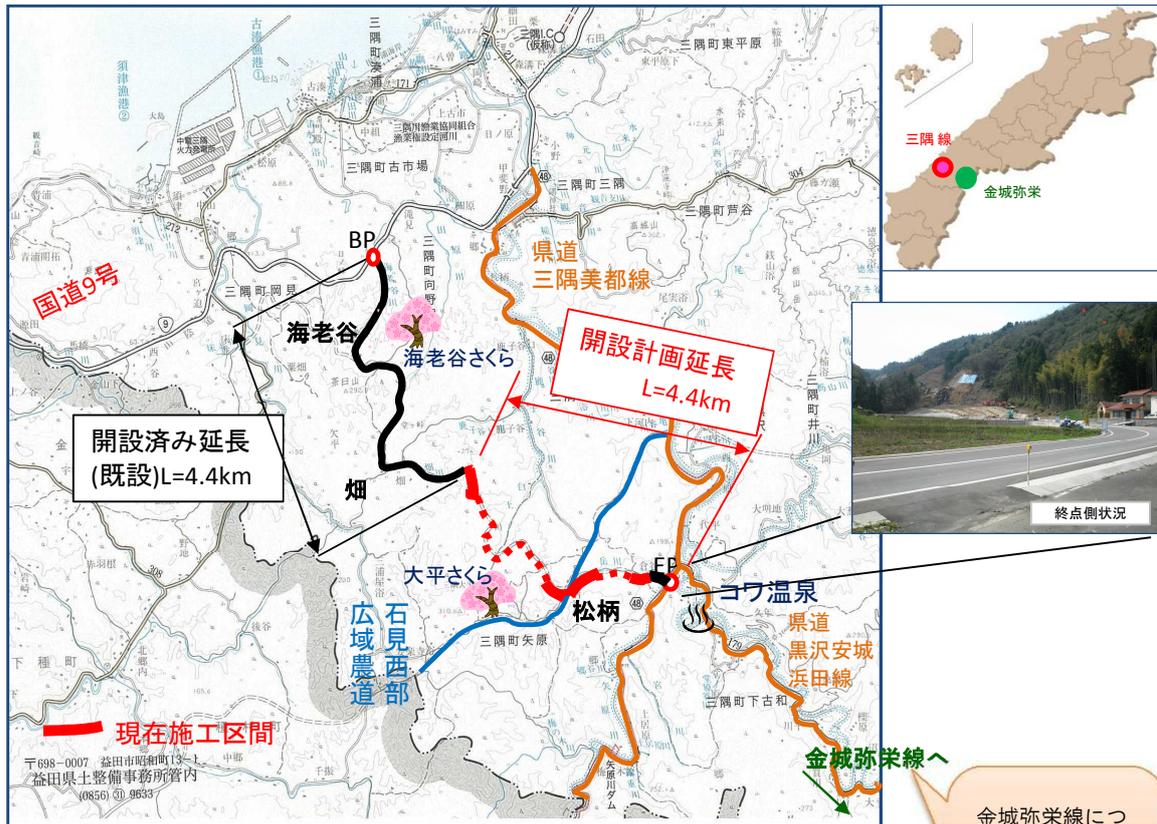
写真-3 カフェレストラン完成状況

現場紹介

広域基幹林道「三隅線」の工事状況について

当路線は、浜田市三隅町向野田の国道9号から同市同町下古和の県道までを結ぶ、幅員7.0m 延長8.8kmの2車線林道です。

同じく開設中の金城弥栄線と連携することで、主伐期を迎えようとする浜田市南部の森林地帯を縦断し、森林施業や木材運搬の効率化を図るばかりでなく、「大平桜」などの観光スポットや周辺集落を結ぶことで、中山間地域の生活基盤や憩いの場の提供などに大きな期待が寄せられています。（本路線は平成27年完成予定）



工事安全の確保

工事にあたっては、山間部での工事ということもあり、安全に実施できるように様々な工夫をしています。

急峻な地形の土工においては、ワイヤーを使用した無人掘削機 (NETIS 登録工法) を導入しました。



金城弥栄線についても道づくりだより第38号(2011.4)に掲載されています。見てね！

周辺環境への配慮

周辺環境への配慮として、ヤシマットを用いた汚濁防止施設を設置し、河川に濁り水が流れ込むのを防止したり、小動物が側溝に落ちても外に出られるようスロープ付きの側溝を施工したりして、自然に配慮しています。



(写真は金城弥栄線の施工例です)